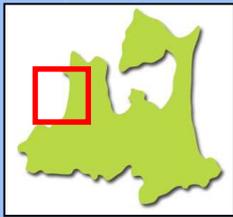


藻場礁（もばしょう）を整備しています！ （西北地域県民局の巻 その 46）

日本海北部地区（脇元漁場）位置図



脇元漁場

海底設置前のセルブロック

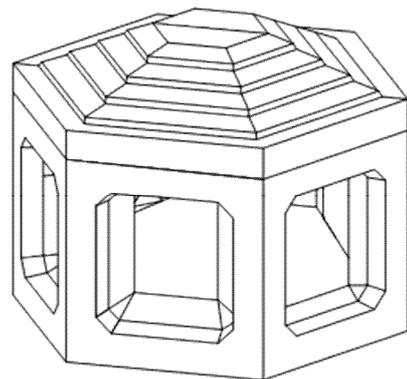


【事業概要】

- 1 事業名：日本海北部地区水産環境整備事業
- 2 事業主体：青森県
- 3 関係市町：中泊町、五所川原市、つがる市
- 4 総事業費：35.7 億円
- 5 事業内容：
 - (1) 小泊漁場 増殖場 A=7.3ha
魚礁 V=30,228 空 m³
 - (2) 下前漁場 増殖場 A=3.0ha
 - (3) **脇元漁場 増殖場 A=9.0ha**
 - (4) 車力漁場 増殖場 A=6.0ha
- 6 工期：平成 26 年度～令和 4 年度
- 7 対象魚種：ウスメバル、ヤリイカ、ヒラメ、カレイ類、ソイ類、タイ類、サザエ

現在、青森県では、**脇元漁場**（上の位置図の赤色の部分）において、**藻場礁の整備**を実施しており、**セルブロック**を製作・設置しています。

セルブロック（セル t45（B46）-STR 型）



高さ：約 2.5m 重さ：約 20t 幅：約 3.6m

写真①：セルフブロック



藻場礁（もばしょう）って？

イカ君： 藻場礁ってなに？

おべ様： まず、「藻場」とは、海の中で海藻がたくさん生えている場所のことで、魚が成長するためにとっても重要な場所のことを言うよ。今回は、人間が魚の成長の手助けをするために造成したブロックを「藻場礁」と言っているよ。藻場の造成には、「セルフブロック」というものを使っているよ。

セルフブロックとは？

写真②：作っている様子



イカ君： セルフブロックって？

おべ様： 左上の写真①に写っているのがセルフブロックだよ。写真からもわかるように、コンクリートで作られているよ。そして、高さは約2.5m、幅は約3.6mあるんだ。これを海底に設置することで、そこに魚が卵を産んだり、魚の赤ちゃんの棲み家、隠れ家、エサ場になるよ。

イカ君： へ～。どうやって作るの？

おべ様： 写真②のように、型枠の中にコンクリートを流し込んで作っているよ。流し込んだ後は、固まるまで待ってから、型枠を外すんだ。固まった後は、底に“おもり”としてさらにコンクリートを流し込んで、重量を増やしているよ。これは、海底に設置した後、強い波の力でセルフブロックが倒れたり、動いたりしないようにするためなんだ。完成後のセルフブロックの重さは、1基あたり約20tにもなるよ。

イカ君： とても重いんだね。そんなに重いものを沖まで運べるの？

おべ様： 写真③のように、クレーンがついた大きな船に載せて設置箇所まで運ぶよ。写真④が実際にセルフブロックを海に沈めている様子で、水深約10mの位置に設置しているよ。

イカ君： すごいね！いろんな魚の赤ちゃんがセルフブロックに棲みついて成長して、魚の数が増えるといいなあ。

おべ様： そうだね。青森県では、このセルフブロックの他にも色々な種類のブロックを造成しているよ。このような取り組みをすることで、漁師さんの漁獲量が増えて、青森の美味しい魚がたくさんの人に食べてもらえるようになるよ！

写真③：クレーンをついた大型船に載せます



写真④：海底に沈めます



← 設置後、魚が集まる様子